

《第81回》令和元年十二月の作品

〈十二月十三日（金）於・文京区民センター3E〉

木曾谷の脇本陣の冬紅葉

（清助）

友逝くや山河を包む冬銀河

（孝昭）

寒ざらひ孟母断機の教へ身に

（前歩）

トライ後の一瞬ラガーの破顔かな

（隆治）

石露咲いて岩に力を与へけり

（一江）

白き月師走の街の影を濃く

（奉男）

名優の声の確かさ冬銀河

（芙紗）

流れくるトロイメライや冬銀河

（平六）

髪結うて貰ひスキップ七五三

（正佳）

冬三日月沈黙の街揺るがざる

（正雄）

桜島これぞ大根十三キロ

（貴美）